

●発表日:令和7年(2025年)11月26日

渥美半島菜の花まつり会場で 「花咲く暮らしラボ」を開催します

「日本一の花の生産地」である田原市が、日本で一番幸せな風景を生み出すプログラム『花咲く暮らしラボ』を、昨年に引き続き2回目の開催をします。

本プログラムは、本市が令和6年度から開始した「世界に誇れる花のまちプロジェクト」の一環として、国内外アーティストと地元市民の協働により、花と食とアートの魅力を融合し国内外に発信するもので、インバウンド観光の振興、移住の促進などにつなげることを目的としています。

会場では、一面の菜の花畠の中にアート作品が展示されるほか、国内外のアーティストや地元の生産者、飲食事業者、高校生によるワークショップやマルシェを展開し、農業産出額全国トップクラスの田原市だからこそ実現できる、花と食とアートの魅力の融合を皆様に体験していただきます。

圧倒的な菜の花畠に生まれる幸せな風景をぜひご体験いただくとともに、当日の取材および広くご周知いただきますようお願いします。

■開催期間

(1) アート作品の展示等 令和8年1月17日(土)~3月31日(火)

今年度新たに展示するアート作品やアーティストについては次頁をご参照ください。

(2) ワークショップ・マルシェ等 令和8年2月28日(土)、3月7日(土)

ワークショップ・マルシェ等の詳細は12月中旬に報道発表を予定しています。

公式ホームページ(<https://www.hanasaku-tahara.jp>)でも順次公開予定です。

■会場

伊良湖菜の花ガーデン(渥美半島菜の花まつり会場内)

■総合プロデュース

スパイラル／株式会社ワコールアートセンター



photo: Yoshiki Iwanami / ©Hanasaku Kurashi Lab 2024

■新たに展示するアート作品について

<アーティスト> 井上 信太 氏(いのうえ・しんた)

1967年大阪府生まれ、京都府在住。羊飼いプロジェクトを中心
に国内外で多数の展覧会、ワークショップを開催。近年は、多領域
の空間のディレクションを行う。主に劇場、能舞台、茶室、病院など
新しい空間での平面構築に積極的に取り組み、次世代平面表現
の可能性を探っている。近作では、三陸国際芸術祭や三陸ブルー
ラインプロジェクトのアートディレクションを担当。三陸沿岸で新し
いコミュニティーアートを推進している。



井上信太氏「幸せの青い鳥プロジェクト」

本年初参加となる現代美術家・井上信太氏が、黄色い一面の菜の花畑に青い鳥を呼び寄せる
参加型プロジェクト「幸せの青い鳥プロジェクト」を実施します。12月に行われる事前のワー
クショップには、田原市内の保育園児 75名が参加。約 100 もの木製の鳥にマグネットパーツ
やポスカなどで装飾を施し、こどもたちの創造力を映したユニークな作品が完成します。

菜の花まつり期間中には、来場者の参加によるワークショップを経て、鳥や巣箱がさらに追
加。止まつたり群れたりと自由に羽ばたく 200 を超える鳥たちが菜の花畑に色を添えます。

●保育園での事前ワークショップ

12月 9 日(火)

- ・稻場保育園 9:30 – 10:30
- ・野田保育園 13:30 – 14:30

12月 10 日(水)

- ・伊良湖岬保育園 13:30 – 14:30

●菜の花まつり期間中ワークショップ

3月 7 日(土)13:00 – 15:00

参加無料 1回 20 分程度



2025 年 8 月の BIRD HOUSE PROJECT in TOYOSU 2025 の様子

保育園でのワークショップに取材に来ていただくことも可能です。

(事前に農政課までご連絡ください。)

